



家の光製本梱包株式会社

製本・ラッピング・梱包発送の  
総合力で信頼のサポート

一冊の本が物語を生む

全国のJA職員の各家庭に配布され、約50万部という発行部数を誇る雑誌『家の光』の製本・梱包を手掛ける

家の光製本梱包株式会社  
(略称:IBP)

# 会社概要

**社名** 家の光製本梱包株式会社（略称:IBP）

**設立** 1989年（平成元年10月）  
新宿製本株式会社と協同梱包株式会社が合併

**従業員数** 61名（2022年11月時点）  
男子 48名 女子 13名

**関連団体** 一般社団法人 家の光協会  
**会社** 株式会社 家の光出版総合サービス

# 業務内容

1. 書籍、雑誌、カタログ、パンフレットなどの製本
2. 雑誌、冊子、チラシなどのフィルムラッピング
3. 書籍、雑誌、各種印刷物の保管管理と梱包発送
4. 印刷から製本・梱包発送までの一貫作業
5. 記念品などの資材の保管管理と梱包発送
6. 書籍のセット作業

# 当社の特徴



並製2ライン  
中綴2ライン  
トライオートで  
迅速、正確、美しい仕上げ



5点まで封入可能  
最新のカメラ検知機能付  
個人情報保護に基づいた  
正確な管理体制



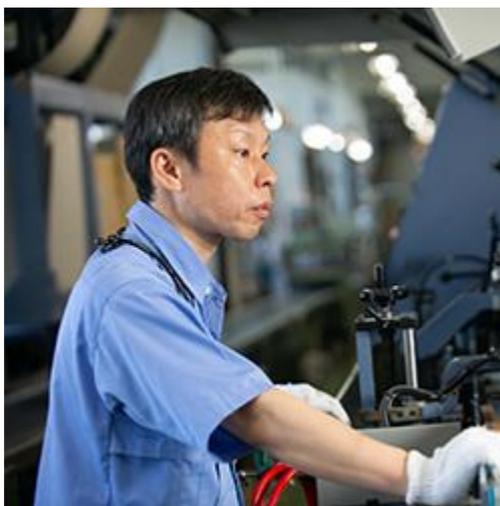
重量検品機や  
自動フィルム梱包機がフル稼働  
確実・迅速な対応  
安心・信頼の保管と発送



# 当社の職制から考えられるハラスメント

敷地3,300㎡、総床面積6,500㎡  
という広大な敷地に設置された  
複数の最新機械を稼働。

事故防止のため現場作業時に  
つい声を荒げる場面も。



配送では個人情報も扱う。  
物流現場は変化のスピードも速く、  
常に改善・迅速提案が求められる。

営業と現場の間のコミュニケー  
ションも重要に。



# ハラスメント対策

## 1. 就業規則の改訂

## 2. 管理職向けのセミナー開催

- ・ハラスメント防止の啓発ビデオの視聴

## 3. 管理職へのアンケート実施（気づきへの導き）

## 4. 相談窓口の設置

- ・社労士の資格をもつ社員をリーダーに体制整備

# ハラスメント対策の課題

- ・ ハラスメントとは？  
（受け取る側の意識によって、大きく変わる）
- ・ 感情のコントロールの重要性
- ・ グレーゾーンに対する判断と対応
- ・ 個々だけではない、周囲への気遣いの必要性
- ・ 年代の違いによる、ハラスメントに対する意識の違い
- ・ 職場環境の違いによる、ハラスメントに対する意識の違い
- ・ コロナ禍におけるコミュニケーション不足の深刻化
- ・ ハラスメントへの過度な意識

☆ハラスメントに対する意識を、全従業員に根づかせる